

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 津山グンゼ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0013 岡山県津山市二宮2200
----	--------------------------	----	--

本票作成	部署名：製造課
------	---------

主たる業種	分類コード	11	業種名：繊維工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	縫製用ミシン糸、産業用・自動車用縫い糸の製造：従業員84名
-------	-------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	津山グンゼ株式会社	岡山県津山市二宮2200

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 25 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	4,376 t CO ₂	4,118 t CO ₂	4,332 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	津山グンゼ株式会社	4,118 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 26 年度	～	平成 26 年度	(1 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.4 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 (トン)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		4.799 t CO ₂ /(t)	4.491 t CO ₂ /(t)	4.751 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

蒸気配管の保温材の改修を大々的に行ない、放熱ロスの削減が着実に効果に結びついたと考えられる。一方、電力消費においても、大きな改善はないものの小さな改善の積み重ねが効果に繋がっている。

【推進体制】

- ・エネルギー管理統括者（工場長）、企画推進者（製造課長）、エネルギー管理員（製造課員）各1名配置
- ・ISO14001の運用
- ・CAP-DO（PDCA）検討会、環境委員会を毎月1回開催

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
（平成26年度実施分） 津山ゲンゼ株式会社	（平成26年度実施分） <ul style="list-style-type: none"> ・第2高圧乾燥機ブロワーインバーター制御 削減効果：10tCO2/年 ・廃水处理曝気槽ブロワー容量小型化（7.5kW→5.5kW） 削減効果：12tCO2/年 ・50K染色機×8台の保温材改修 削減効果：8tCO2/年 ・蒸気配管保温材改修 削減効果：50tCO2/年
（平成27年度実施予定） 津山ゲンゼ株式会社	（平成27年度実施予定） <ul style="list-style-type: none"> ・合燃DT機AB糸生産に伴う周波数ダウンによる省エネ 削減期待効果：49tCO2/年 ・100K染色機×4台のポンプ周波数ダウンによる省エネ 削減期待効果：20tCO2/年 ・染色給水を冷水から中温水に変更し昇温ロスを削減（冬季限定） 削減期待効果：21tCO2/年 ・樹脂加工機×6台の熱交換器能力増強による省エネ 削減期待効果：13tCO2/年 ・その他、ゲンゼ(株)本社技術部指導による省エネテーマの推進

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--